

# みんなの議会

## たかす

NO.137

平成22年2月5日

鷹栖町はたちのつどい



平成22年 鷹栖町「はたちのつどい」

1月10日、鷹栖中学校にて開催されました。  
新しく成人となられた皆さん、おめでとうございます。

第4回定例会

第9回臨時会・委員会活動・研修会・議会のうごき

一般質問

常任委員会視察報告

わたしの一言・あしがき

2～3ページ

3ページ

4～9ページ

10～13ページ

14ページ



人 自然 あったかす

# 第7次鷹栖町総合振興計画 基本構想を議決

まちづくりのテーマ「みんな 笑顔で あったかす」

## 12月定例会で決めたこと

第4回定例会は、12月15日から2日間の会期をもって開催し、議長の行動報告と町長の主要な動静について行政報告を受けたあと、6名の議員が一般質問を行い、町長の考えをいただきました。

議事は、条例改正2件、議決事項2件、平成21年度一般会計ほか3会計の補正予算、および第7次鷹栖町総合振興計画基本構想について審議を行い、原案のとおり可決しました。

また、陳情案件について委員会審査報告を受け、報告のとおり、採択すべきものと決しました。

意見書案を採択し、16日に閉会しました。

## 条例

・鷹栖町福祉・保健文化  
賞基金条例の一部改正

鷹栖町の保健活動に対し、子ヨダ地域保健推進賞を受賞したことを記念し、報奨金を基金に積立てて活用するため、基金の額250万円を270万円とする改正をしました。

・鷹栖町保育所の延長保育に関する条例の一部改正

## 議決事項

延長保育についての保育料免除要件を、規則に定める区分により減免する改正をしました。

・北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の数の増減について

・北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

組合及び広域連合を構成していた上湧別町と湧別町が合併し、湧別町となったことによる構成員変更について、地方自治法の規定により加入脱退の議決をしました。

## 第7次鷹栖町総合振興計画基本構想の議決

平成22年度から10年間の基本構想を議決しました。

## 委員会審査報告

平成21年第3回定例会において、経済福祉常任委員会に付託した「8区町内会道路舗装促進について」の陳情は、委員会審査報告のとおり「採択すべきもの」と議決しました。

## 補正予算

### ■一般会計

歳入歳出予算をそれぞれ5,658万2千円増額し、予算総額47億2,322万7千円としました。

(主な補正内容)

・職員人件費

△365万円

・財政調整基金積立

53,200万円

・公有自動車購入

△280万円

・高齢者福祉施設

整備助成 399万円

・子育て応援特別手当

△936万円

・新型インフルエンザ予防接種事業

418万円

・省エネルギー型農業機械等導入事業

1,469万円

・融雪槽等設置助成

△214万円

### ■公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ67万円増額し、予算総額3億8,333万9千円としました。

補正内容は、職員人件費67万円の増額です。

委員会活動

議会運営委員会

10月26日・11月9日・19日・25日

議会報告会等について協議しました。

12月10日

第4回定例会で提案される案件や意見書の取り扱いなど、議会運営について協議し、会期を2日間と決めました。

総務文教常任委員会

11月19日

第9回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

12月8日

第4回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

経済福祉常任委員会

10月26日

第3回定例会で付託された陳情書「8区町内会道路舗装促進について」の現地調査をしました。

11月25日

付託された陳情書について審議しました。

12月7日

第4回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議した後、付託された陳情書について審議しました。

■上川支庁管内町村公平委員会特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ8万円減額し、予算総額1,196万3千円としました。

補正内容は、職員人件費8万円の減額です。

■水道事業会計

収益的支出の水道事業費用を165万円減額し、予算総額1億8,252万8千円としました。

補正内容は、職員人件費165万円の減額です。

意見書

サンルダム本体工事凍結解除を求める意見書を採択し、関係行政庁に提出しました。

第9回臨時会

11月25日

■一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

人事院勧告に基づき、

議会議員、町長、副町長、教育長及び一般職員の期末手当を0.35カ月分削減する等の条例を制定しました。

■一般会計補正予算

歳入歳出予算をそれぞれ1,245万円減額し、予算総額46億6,664万5千円としました。

主な補正内容は、期末手当等人件費の減額です。

■高額財産取得の議決

・鷹栖町小中学校校務用コンピュータ等購入

・契約の金額

1,557万1,500円

・契約の相手方

株式会社ソリューションセンター

・鷹栖町小中学校地上デジタルテレビ等購入

・契約の金額

721万3,500円

・契約の相手方

はんの通商

管内町村議会議員研修会

10月26日、旭川市での研修会に出席しました。

はじめに、法政大学法学部の廣瀬教授から「議員力検定について」の演題で、検定模擬試験を交えての講演を、また、公認会計士の川口氏からは「公会計制度と財務書類



等の公表について」お話をいただきました。

議会のうごき

10月1日

総務文教常任委員会道内視察  
(上士幌町・北見市 2日)

14日

第8回鷹栖町議会臨時会・議員協議会

20日

占冠村議会視察来庁

26日

経済福祉常任委員会・議会運営委員会  
上川管内町村議会議員研修会(旭川市)

11月9日

議会運営委員会

10日

上川町議会議長会現地研修会  
(東京都ほか 14日)

11日

第53回町村議会議長全国大会(東京都)

19日

総務文教常任委員会・議会運営委員会

25日

第9回鷹栖町議会臨時会・議員協議会  
議会運営委員会・経済福祉常任委員会

12月3日

上川中央都市・町議会全副議長定例会議(旭川市)

7日

経済福祉常任委員会

8日

総務文教常任委員会

10日

議会運営委員会

15日

第4回鷹栖町議会定例会(16日)

16日

議員協議会・市町村合併等調査特別委員会



山田 昇 議員

## 問 道警団地の周辺環境整備

答 引き続き強く要望していく

### 問

北野市街地にある、北海道警察団地について伺います。

道警団地は昭和50年に1棟、52年に1棟、合計64戸建設され、築32年以上経過しています。十数年間は64戸全てに入居し、町内会活動や地域活動が活発に行われていました。しかし、住宅環境等の変化により、年々入居者が少なくなり、現在はB棟に2戸の入居、A棟には入居者ゼロの状態が長く続いていて、建物のヒビや破損などが発生しています。

確認し、対応を要請すべきと考えます。

また、建設時にアスベストを使用していることも懸念されるので、事実を確認することも、もしアスベストが使用されているなら、対策を講じる必要があると思います。

町内会では環境整備のため、毎年草刈りを行っています。道警敷地内の草刈りは、道の職員が休日を利用して数回実施していますが、満足できる状態ではありません。管理者である北海道警察が、責任を持って実施することが必要と思います。

警察ですが、築32年以上経過している建物および団地周辺の環境整備と安全対策の解決に向け、町の積極的な取り組みが必要と考えますが、町長の考えを伺います。

### 助安町長

道警団地は私も状況を把握しており、気に掛けています。この建物は北海道の持ち物ですので、管理している旭川方面本部の会計課に確認をしたところ、今の状況も十分認識しています。宿舎としての利用は難しくなっている

ので、毎年解体の予算要求を行っているのですが、北海道も大変財政的に苦しい状況で、予算がなかなか付かないという話でした。

町も毎年要望をしていますし、私も機会が

あることに関係者の方に相談しています。今後も引き続き要望したいと思います。

また、建物が解体されるまでの安全管理が一番の課題ですので、それもお願ひしています。アスベストの件について北海道は、設計図書などで確認し、問題がないという判断をしています。

草刈りは、道警の職員も努力されていますが、皆さんの満足いくような形にはなっていないのも事実だということ、反省されています。入居している職員も協力し、迷惑の掛からないよう今後も努力したいということです。

物置の基礎コンクリート撤去

についても予算要求していたのですが、建物同様予算が付かず、に苦慮されています。問題はすぐ解決しません、所有者としての管理と安全対策だけはしっかりとやっていただき、また建物解体も、一日も早く実施してもらえよう、引き続き粘り強く要望していきます。



道警団地

# 問 行政の見直しと今後

## 答 町民参加のまちづくりを



近藤 義紀 議員

### 問

本年度が目標年次の「行財政改革大綱」で、職員定数見直しの項目があります。

現在の町職員は99名で、過去よりは減少していますが、嘱託や臨時を含めた総数での職員定数の評価をする必要があると考えます。町民憲章は、これまでどのような見直しをしましたか。行財政改革推進委員会の進め方について、次年度からどのようにする考えか。

第6次総合振興計画後期計画にある消防団の体制見直しをどのように行ったのか。また、遊休財産活用検討事業は、具体的な行動がありましたか。新年度の予算編成は不確定要素の多い中で、どのように取り組んで

いるのか。また、国の事業仕分けによる本町への影響はどの程度なのか。

行政評価について、今後、評価を公表する考えがあるのか伺います。

次に、「協働のまちづくり」の具体的な方策ですが、活動の範囲・目的を明確にし、町がリーダーシップを示していくべきと考えます。そのために、町民の方々の参加による提案グループを立ち上げて、町政に関心を持っていただければ、素晴らしいまちづくりにつながると思えますが、いかがでしょうか。

### 助安町長

職員定数の見直しは順次行ってきました。一部の嘱託職員についても「定員適正化管理計画」の中で管理をし

ており、それ以外の嘱託・臨時職員も常に点検と見直しを行っています。

町民憲章の見直しは、現在、「協働のまちづくりの実現」を視点に、検討課題としています。

スローガンの性格の町民憲章に、具体的な行動を規定することが妥当かという考え方もあり、別な方法も含めて検討したいと思えます。

行財政改革推進委員会については、行財政改革大綱に基づく改革の取組みは毎年行っています。自主・自立のまちづくりを進めるための取り組みは今後も継続したいと思えます。消防団の体制見直しについては、団員定数の改正を行いました。組織のあり方は、継続して検討していきたいと思えます。町有財産の有効活用

ですが、可能なものは積極的に進めていきたいと思えます。

新年度予算編成については、現制度のもとで方向性を見いだしながら判断し、国の予算・地方財政計画等が明らかになった段階で、方向を固めたいと思えます。国の事業仕分けの影響は本町で12事業あり、関連する事業にも大きな影響が出ることで懸念されます。

行政評価は、経済効果だけで表現できない課題もあると思えますが、内部の評価だけに留めようとは思いません。

協働のまちづくりは地域の自主性を基本に取り組むことで形成されていくと考えており、少しずつ形になってきていると思えます。町民参加のまちづくりグループについては、皆さんの自発的な活動

を土台として、既存のまちづくり懇談会等で自由闊達(かたたつ)な議論をしながら、一緒にまちづくりを進めていきたいと思えます。

### ■町民憲章

私たちは、鷹栖町民であることに誇りと責任を感じ、先人の偉業を受けつぎ、明るく住みよい郷土をつくるためにこの憲章を定めます。

- 自然を育て、きれいな町をつくりましょう。
- 家庭を愛し、住みよい町をつくりましょう。
- きまりを守り、明るい町をつくりましょう。
- 生産を高め、豊かな町をつくりましょう。
- 文化を育て、うるおいのある町をつくりましょう。

昭和47年1月1日制定



植西 辰義 議員

# 問 人口減少化を抑制する施策を

## 答 まちの魅力を底上げしたい

### 問

昨年、社団法人北海道未来総合研究所が道内180市町村の30年後の将来人口推計を発表しました。道内は、563万人から424万人に25%減少ですが、市町村によっては大変

ばらつきがあります。

上川管内では、旭川市が30%減少、鷹栖町は13%減少ですが、逆に増える町は東神楽町と東川町の2町だけでほかの市町村については、軒並み30%から70%を超えて減少するとの予測です。鷹栖町の減少率は少なく、良い方とは思いますが。

ただし、経済の主たる担い手である生産年齢人口（15歳～64歳）がかなり縮小していき、若年層が少なく高齢層が多くなれば、基幹産業の農業振興やまちづ

くりに対する影響は計り知れないものが数多くあるのではないかと懸念しています。現実には、農業の担い手不足による農地保全や、地域単位で行うイベントの開催についても、地域住民からは将来に対する不安の声が出ている状況です。

今後は、大型宅地分譲や工業団地造成の取り組みによる人口増加は望めないと認識していますが、一人でも多くの町民が、町外に流出しないように多方面から多岐にわたる施策が必要であり、人口減少抑制に対する総合的なプロジェクトを立ち上げるべきと思いますが、町長の考えを伺います。

### 助安町長

国全体の人口が減少している中で、鷹栖町

も例外ではありません。国や道の都市計画の考え方は、コンパクトにまとめていく形に変化しているところです。

以前のように市街化区域を拡大していく宅地開発は難しい状況だと思いますので、今後の定住対策は、違う形で若い人達が鷹栖から流出しないような施策に重点を置かなければならないと考えています。農業行政もかなり厳しい状態ですし、その中で高齢化が進行して

いることも事実です。

地域農業推進会議などで議論していただき、農業をどう守り堅持していくかの仕組みづくりを皆さんと一緒に作りたいと考えています。町内で安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めることは大事なことです。継続していき、今、課題にある高齢化社会についてもしっかりと対策をたてなければなりません。

まちづくりの中にい

ろんな部門があり、複合した形の中でまちの魅力を底上げできれば、急激な人口減少の歯止めになると思います。

際立った人口減少の抑制策は模索するしかありませんが、皆さんが鷹栖に住んでよかつた、頑張つていきたいと思える環境を、私たちみんなで知恵を出し合つて構築するしかないと考えていますので、ご理解ください。

2005～2035年の人口伸び率

### 伸び率上位市町村

単位：%

順位	上位市町村名	伸び率
1	東神楽町	6.6
2	音更町	2.5
3	芽室町	1.5
4	東川町	0.4
5	恵庭市	0.1
6	千歳市	△ 0.2
~~~~~		
13	鷹栖町	△ 13.5
~~~~~		
	北海道全体	△ 24.6

出典：「北海道180市町村の2035年の将来推計人口について」  
(社団法人 北海道未来総合研究所)

# 問 担い手と農地集積の今後の対応は

答 いろいろな事業を活用し応援したい



藤澤 孝夫 議員

## 問

町農政課による「平成21年農業者の現状について」の報告書による試算では、10年後の農家戸数は約30%の減少になり、1戸当たりの平均耕作面積は50%増えるという、大変衝撃的な内容です。

国が示す「食料・農業・農村基本方針」では、農業の構造改革が立ち遅れているため、地域農業の担い手を育成・確保し、農地の利用集積の促進を図るなど、農業改革を加速していく必要があるとされています。

町内では農家戸数が減少を続けていて、現在、農地を貸している戸数が、町外土地所有者も含めて約5,400戸、その面積は約1,640haになり、町内耕作面積の35%にあたりま

す。

また、認定農業者が経営する営農団地数は、16〜20haの経営規模で、平均6団地、30ha以上では、約14団地を耕作している現状です。

今後1戸当たりの面積が拡大するとともに団地数はさらに増え、土地利用型農業はますます作業効率が悪くなり、コストの掛かる農業経営に進みつつあります。地域の景観や環境を守っていくことも、困難な状況になるのではないかと考えられます。

町長は、地域農業の担い手の育成や確保、また、農作業の効率化を図るための農地集積事業や中間保有などについて、どのように考えているか伺います。

助安町長

町内に農家戸数は昭和40年には約1,400戸ありましたが、年々減少が進み、平成21年には414戸の状況になっており、特にこの5年間の減少率が大きいです。

一方、農地保全については、中山間直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策事業が機能し、極端な耕作放棄地を出さないで、事業継続ができています。

農地の賃貸では、改善実施組合が主体になり、担い手への集積を図ってきましたが、農業者の経営負担が掛かる多団地化が進行しています。

また、農業者の高齢化も進行し、今まで地域を支えてきた中核的農業者の経営中止も広がってきているのが現状です。

農地の効率的な集積や、担い手の過重を軽減

減することが今後の大きな課題です。地域農業推進会議での広域的事業や、みんなで創る

地域農業交付金を活用し、応援していきたいと思っています。

## 鷹栖町農業の現状と見込み

### 1. 年齢区分毎の経営面積（平成21年度）

年齢(歳)	～39	40～49	50～59	60～64	65～70	71～75	76～	合計
戸数(戸)	23	47	110	63	71	43	57	414
面積(ha)	322	557	1,089	590	579	155	103	3,395
1戸当たり面積	14.0	11.9	9.9	9.4	8.2	3.6	1.8	8.2

### 2. 今後の農家戸数と経営面積の見込み

	農家戸数(戸)	1戸当たり経営面積(ha)
平成21年	414	8.2
平成26年	345	9.8
平成31年	292	11.6

※農家戸数は、現在65歳以上の農家で

1. 後継者がいるか
2. 認定農業者であるか
3. 過去20年間の農家戸数の減少率

を考慮し、推計した。

(鷹栖町農政課資料)



新田 健一 議員

## 問 パレットヒルズの総合計画は

答 楽しめる公園づくりをしたい

### 問

町長は、6月の一般質問の答弁で、パレットヒルズのパークゴルフ場については、町民集会で町民の意見を聞いて今後の方向を決めると言っていました。

町民集会等では「使える状態に管理されているのだから、早くオープンしてほしい」との要望がありました。が、本年度は結論を出さずに、来年度に向け管理者を募集しています。

今年度中に管理者が決まらない場合、どのような利用計画を考えていますか。

また、町民集会ではパークゴルフ場の試行を3年程度考えていると言いましたが、町長の任期内に方向性を示す考えはないのか伺います。

現在策定中の第7次

鷹栖町総合振興計画の中で、「郊外で遊べる緑地の整備」と「観光の振興」を掲げていますが、パレットヒルズの総合的な計画をどのように考えているのでしょうか。

夢とロマンのある素晴らしい桜の公園として、未来を担う子どもたちに残していくことは、町の責任ではないでしょうか。

町長は、夢の持てる鷹栖町を、どのように描いていくか伺います。

### 助安町長

6月の一般質問で答えしたように、現地視察と町民の集いを行いました。「町長への手紙」でもいろいろ意見をいただきました。12月に管理団体公募の事前説明会を予定しています。2・3の団体が出席の意向を示

ています。

パークゴルフ場としてはもう少し整備が必要で、維持管理経費などを考えると、1年や2年で管理者となった方が安定した運営と方向性を出すのは難しいと思いますので、私の任期残り3年間で見極め、判断をして方向付けしたいと考えています。

応募者がなかった場合の対応は、公募なので、今の段階ではお答えできません。

パレットヒルズの全体計画については、パークゴルフ場とその他の部分を区別しながら対応したいと思しますので、平成22年度中で十分な議論をしたいと思っています。

第7次総合振興計画の基本目標にある「郊外で遊べる緑地の整備」ですが、みんなが集まって楽しめる場所を、ど

のように創出するか、皆さんの意見を踏まえながら実現させたいと思っています。

鷹栖町は観光の場所に乏しいと言われていますが、今回、現地視察会に来られた方には環境の良さを認識していただいたと思います。その事を大事にしながら、整備を考えていきたいと思っています。

パレットヒルズの魅

力は十分にありますし、桜も育ってきましたので、年に何回か集まり季節ごとの良さを認識していただけるような活用をしていければ良いと思います。

パレットヒルズには、皆さんの想いがありますから、それを大事にして、町民の皆さんが楽しめる公園を造り、次の世代に引き継ぎたいと考えています。



パレットヒルズ現地視察会



# 問1 地域福祉と保育行政の将来は

答 積極的に応援いただける形を/新政権の動向を



坂根 玲子 議員

# 問2 悲しいメロディー橋

答 なるべく早い対応を努力する

## 問 1

高齢化が進む中、高齢者が安心して在宅で生活できるような町独自の福祉を目指す計画が必要と思います。

胆振管内豊浦町では町民同士で命を支え合

おうと、中学生以上を受講対象として、救急蘇生法の資格を町民20%以上の取得を目指す

取り組みを始めました。本町でもこの資格や

ホームヘルパー資格の取得に取り組むことで

知識や技術が日常生活に生かされ、安心して

暮らせて助け合える地域づくりができると思

います。

また、福祉・医療関連資格を持つている人

材の活用など、地域で介護ができる仕組みづ

くりが必要だと思います。町長の考えを伺

います。

次に、第6次鷹栖町総合振興計画では、幼児一元化を目指してい

たいと思いますが、鷹栖・

北野の保育園を新築・

改築しました。少子化

が進む中で、5年・10

年先に向けての、保育

行政に対する町長の考

えを伺います。

### 助安町長

第7次鷹栖町総合振興計画では基本目標に、

鷹栖町らしい福祉の将来像を「いきいきとし

た生涯元気なひとづくり」としています。

救急蘇生法の資格取得については、資格の

有無は別にしても、体験できることによつて、

福祉のまちづくりを構築できると思います。

講習などの要請があれば、消防の方でも協力

できます。

ホームヘルパーの資格取得については、国

の政策を活用しながら進めていきたいと思

います。

福祉・医療関連の有

資格者の人材活用につ

いては、地域に潜在す

る方の協力をいただき

きたいと思っています

し、ボランティアや地

域協力員として、積極

的に応援していただ

る形を考えたと思

います。

保育行政については、

新政権が幼保一元化を

検討していますので、

もう少し状況を見なが

ら、判断したいと思

います。

救急蘇生法の資格取

得については、資格の

有無は別にしても、体

験できることによつて、

福祉のまちづくりを構

築できると思います。

講習などの要請があれ

ば、消防の方でも協力

できます。

## 問 2

メロディー橋ができ

た当初は、多くの方や

報道陣が訪れて、鷹栖

の一つの顔になってい

たと思います。しかし

現状は、塗装がはがれ、

驚くほど悲しい状態に

なっています。

久しぶりに橋を見に

来た方が、この橋は、思

い出深い心の風景だつ

たと話をされていま

た。しかし、現在のメ

ロディー橋を見た方は、

どう感じるでしょうか。

ぜひ早期に、きれ

いな鷹栖の顔の橋にして

いただきたいと思います

ですが、町長の考えを伺

います。

### 助安町長

北野橋は昭和56年に

完成し、メロディー橋

として町民に親しまれ

てきました。

これまでに一度、塗装補修をしましたが、現状が悪い事は認識しています。

町が管理する全ての

橋の橋梁長寿命化計画

では、国の補助金など

の支援を確保し、順次

整備していききたいと思

っています。

安全確保を最前提に

計画的な整備を考えて

いるため、塗装改修の

優先度は低いです。メ

ロディー橋について

は、早いうちに対応し

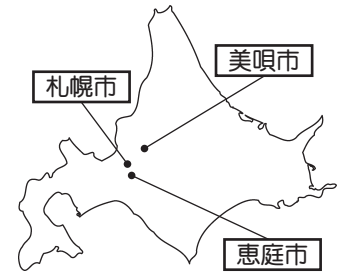
たいと考えています。



メロディー橋

# 経済福祉常任委員会

平成21年8月31日～9月1日（2日間）



1 日目

8月31日

◆美幌市農業協同組合【美幌市】

- ・ 水稲直播について  
(美幌市水稲直播研究会)

◆大成建設株式会社 札幌支店【札幌市】

- ・ 稲わら等バイオエタノール製造について

2 日目

9月1日

◆財団法人 道央農業振興公社【恵庭市】

- ・ 地域農業の活性化に向けた取り組み



## 美幌市農業協同組合（美幌市）

### 調査概要・内容

水稲直播の栽培方法には、乾田栽培と湛水直播がある。

直播栽培のメリットは、①労働時間の短縮と労働の質が向上する ②大規模経営や複合経営の可能性が増大する ③少肥密植栽培による、多収・低タンパク米栽培の可能性が増大する。

特に、乾田直播では、⑦無代掻き栽培なので透排水性が良く、田畑輪作が容易である ①乾田状態で大型機械作業をするので作業の効率化・省力化がはかれる ②気温が低い時でも条件が整えば播種が行えるので作業適期が長い ③播種精度を上げれば覆土をしても苗立ち数が確保しやすい、などのメリットがある。

### 委員会所見

直播栽培導入による経営効果としては、水稲栽培の労働力(特に春作業の労働力)が軽減され、栽培面積の拡大や適期作業が可能となり、水稲を中心とした土地利用型複合経営の可能性も見えてくる。

本町においては、融雪期を早める方法や技術の確立・適性品種と販路の確立などの課題はあるが、将来の技術として今後も調査・研究する必要があると考える。



## 大成建設株式会社 札幌支店（札幌市）

### 調査概要・内容

この会社が手掛けている北海道ソフトセルロース利活用プロジェクトは、平成20年から24年までの5カ年実施する実証事業である。

目的は、食料供給と競合しないソフトセルロース原料（稲わら・麦わら）からバイオエタノールを製造する技術の確立である。

第2世代バイオ燃料（稲わら・麦わらなど）は、製造段階で第1世代（サトウキビ、米など）よりもコストが高くなるため、高効率・省エネの実現を目指している。

また、原料収集運搬技術・バイオ燃料製造技術の確立により、循環型社会の構築と農村振興に寄与する事が期待されている。

### 委員会所見

本町においても稲わらの利用拡大が望まれており、「稲わらを原料とした地産地消型のエネルギー生産の可能性の実証」は、農家の稲わら処理に希望を与えるものであり、食料ではなく副産物を活用する点においては、資源の有効利用といえる。

また、水田から米と燃料が生産されれば、地域経済の活性化にも大いに貢献するものと期待される。



## 財団法人 道央農業振興公社（恵庭市）

### 調査概要・内容

公社は江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、道央農業協同組合、千歳市開拓農業協同組合の4市2JAが支援母体となり、①担い手別の育成支援事業 ②農用地の利用調整支援事業 ③生産性の向上と安全・安心な農産物生産支援事業 ④農業労働力効率化支援事業 ⑤酪農・畜産関連の受託事業などの事業を展開している。

特に、担い手別の育成支援事業や農用地の利用町政支援事業は充実している。

また、酪農学園大学と地域総合交流協定を締結し、①人材の育成 ②食育の推進 ③地域農業の振興 ④研究の推進 ⑤施設の活用などの事業を展開している。

### 委員会所見

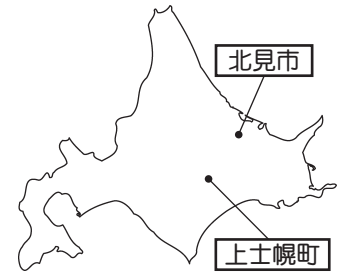
地域の将来を創造して農業の振興・活力ある農村の形成という目標に向かって進む姿勢は、本町においても参考にすべきと考える。

特に、担い手別の育成支援事業や農用地の利用調整支援事業は、本町においても課題の事項であり、早急に取り組む体制づくり・整備が必要と考える。



# 総務文教常任委員会

平成21年10月1日～2日（2日間）



農林水産業者と商工業者等が連携し、それぞれの技術や特徴を活用して先進的な取り組みを行っている、農林水産省・経済産業省「農商工連携88選」の事業所を視察しました。

1 日目

10月1日

◆有限会社十勝しんむら牧場【上士幌町】

・農業の大切さを経営理念とし、他企業との連携による地域活性化状況について

2 日目

10月2日

◆農業法人株式会社イソップアグリシステム【北見市】

・地域の農業関係者とIT企業との連携による精密農業システムの構築状況について

◆農業法人有限会社香遊生活【北見市】

・産学官連携による建設業の農業参入の経緯と活動状況について



## 有限会社十勝しんむら牧場（上士幌町）

### 調査概要・内容

放牧酪農、乳製品・菓子製造などを事業内容としている事業所である。

酪農には「汚い」など負のイメージがあるが、そこからの脱却を試み、舎飼い酪農から放牧酪農へ転換。放牧酪農には、肥料散布などの農業機械を使う作業の軽減や、鉱石燃料使用の軽減、飼料自給率向上といった効果がある。また、働く時間に余裕ができ、ほかの事業活動に専念することができる。

原料乳販売だけでは経営が苦しいため、乳加工製品の製造を始めたことによって、新たな雇用環境創出などの効果が出ている。

「食べる人のための農業を実践し、次世代に継承し続ける企業」の経営理念を掲げ、作物や命を支える土台である土を守り、今後の世代が夢と希望を持ち続けることができる農業を創造する努力を重ねる

ことにより、地域社会と信頼関係を築こうとしている。

### 委員会所見

十勝しんむら牧場の酪農経営は、地域環境の生態系と調和させて環境コストを意識し、環境負荷をできるだけ少なくしている。社会や環境に貢献する経営方針は素晴らしいものであり、多くの事業者の参考になると考える。



## 農業法人株式会社イソップアグリシステム（北見市）

### 調査概要・内容

持続可能な社会と自然との共生などを理念する農業生産法人である。情報技術の利活用により大規模科学的営農システムを構築し、生産コストの低減、高品質、安心・安全な農産品の生産を実現。また、農作物の生産から販売までのフードチェーンシステムの構築などの取り組みを行っている。

また、国と道の補助を受けて導入された大豆乾燥調製・粉粒体加工施設を有し、大豆の生産から加工まで一貫した工程管理がなされ、利用者への細やかな情報提供を行っている。また、各工程及び利用者からのフィードバックにより、生産改善を実施。農産物の付加価値を向上させることで、産地としての競争力強化を図っている。

さらに、オホーツク地域の農産物を使用した食品の製造・販売を行うことにより、農業を核とした地域活性化を目標としている。

### 委員会所見

農地の管理を小分割することで、きめ細かな管理体制がなされていた。また、農産物に付加価値を付けて有利販売をすることで生産者も収入増となることなど、鷹栖町でも見習うべきところが多かった。



## 農業法人有限会社香遊生活（北見市）

### 調査概要・内容

舟山組(株)企画室ハーブ事業部としてスタート後、農業生産法人格を取得し独立。ハーブを栽培し、主としてブレンドハーブティを販売する事業所である。また、北海道では初めて産業用大麻（プラスチックに替わる素材として活用）の栽培をしており、本格実施を5年後に予定している。

1989年、英国でのJ C世界会議参加の際に、公共事業以外の分野開拓の必要性を感じたことが事業着手の背景である。最近の安全安心志向で、徐々に販売が増えているが、基礎需要が少ないことや薬事法の制約などで販路開拓に時間が掛かっている。また、建設業の異業種進出としては早い方であるが、資金の流失等本体に与える影響は大きかった。

現在、全国から物産展へ出展依頼があるが、販売専門店員の育成が急務である。海外からも出店依頼もあるが、価格等の準備が必要とのこと。

産業用大麻には農地保全などの社会的効果があり、今後有力な産業として期待できる。

### 委員会所見

土木建築業の受注減により異業種への転換が必要と感じた。また、無農薬栽培は見習うべきところがあるが、大麻の栽培等は、鷹栖町での活用は難しいと思う。





## 老人会に思う

森 脇 謙一郎  
(25区町内会)

鷹栖町老人会会員も一時は1,300名でしたが、今現在は1,168名でこのところ会員が減少しています。農協・役場を退職された方に老人会に加入を勧めると、まだ若い、入ったら役員を頼まれると言っていますが、皆様のご協力をお待ちしております。

支え合い・ひとりの心・みんなの力・友愛活動の運動を行っています。老人会の年間5大事業も今では7大事業と大変多くなっています。管内では福祉大会中央部8町老人クラブ研修会も、ここ最近では芸能交流が多く400名以上の参加があります。

管内当番地区の会場は、舞台付き昼食会場が廊下でつながっており、各会場に行き食事が出来ます。私も使いやすい会場がほしいと思います。

7月には中央部8町老人クラブ研修会が鷹栖町当番で、会場は管内一立派な会場と言われているメロディーホールで行いましたが、多目的ホールが狭いため、昼食は2回に分けてご協力をして頂きました。毎年9月の老人会主催の長生き感謝祭ですが、車椅子の観覧者も多く収容が出来ない事、トイレが階段でバリアフリーでない事、そのため総合体育館で行っていますが、メロディーホールより舞台資材を運んで、組立てや後片付けの作業も年々大変な事と思っています。

## ● わたしの一言

## ● 日頃思っていること



## 思うがままに

鈴木 敏彦  
(北野西町内会)

平成17年に鷹栖に戻ってきて5年が経ちます。というのは、昭和61年に縁があり、鷹栖町に赴任したところ、鷹栖がとても気に入って平成4年に家を新築しました。しかし平成6年には鷹栖を離れ、他の市町で生活してきました。そんなことから、鷹栖の住民になってまだ13年の新参者です。

もっともっと鷹栖町の事を知らなければという思いから、町の行事には積極的に参加するようにしています。現職の時には、なかなかできなかった議会の傍聴もその一つです。傍聴を重ねるごとに、少しずつ町の動きが見えるようになってきました。

また、10カ月間北野地区公民館で仕事をさせていただいたことは、11年間のブランクを埋め、地域の事を知るために大いに役立ちました。

日本列島総財政難で、鷹栖町も多くの問題を抱えています。町長のリーダーシップのもとで、名実共に「あったかす」になるよう知恵を出し合い頑張りたいものです。

帰ってきて今、気になっていること。・鷹栖の農業の行く末は？  
・パレットヒルズの今後は？・句碑の森はどうなる？・住民と町民の違いは？



こころ穏やかに新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げますと共に、今年が幸せな一年であることをご祈念申し上げます。

昨年は、天候不順による農作物の不作、不景気による低賃金や働く場所がない等、明るい話題が少ない一年だったような気がします。また、政権交代により、今年には国民にとって、期待と不安の中でのスタートですが、私たちも国の進む方向を見極めて、町政の判断をしなければならぬと考えます。

今定例会では、6名の議員による一般質問、条例の一部改正、各会計の補正予算、第7次鷹栖町総合振興計画基本構想等を議決し、その内容を掲載しました。

最後に「わたしの一言」にご寄稿くださいました、森脇謙一郎さん、鈴木敏彦さん  
ありがとうございました。

編集委員一同